

令和元年度第1回大野城市子どもに最適な学期制審議会会議録

- 期 日 令和元年6月6日(木)
- 時 間 午後1時00分～午後2時30分
- 会 場 大野城心のふるさと館 講座学習室
- 出席者 審議会委員
事務局(吉富教育長、梶指導室長、藤田総括指導主事、西岡係長)

1. 開会

傍聴者なし

2. 委嘱状交付

3. 教育長挨拶

4. 委員紹介

中島委員(大野城市PTA連絡協議会代表)、竹下委員(大野城市子ども会育成会連絡協議会代表)は欠席

5. 組織

(1) 審議会の目的及び設置条例の説明

(2) 会長及び副会長選出

会長・・・・・・主税 保徳 委員(福岡教育大学特任教授)

副会長・・・・・・佐々木 隆志 委員(大野東小学校校長)

(3) 会長及び副会長挨拶

6. 諮問(大野城市教育委員会を代表し吉富 修教育長から諮問)

「大野城市子どもに最適な学期制審議会設置条例第2条の規定に基づき、大野城市の小中学校の子どもに最適な学期制について、貴審議会の意見を求めます」

※諮問後教育長退席

7. 審議

(1) アンケート調査の内容について

○別紙アンケート(案)を提示し、事務局から内容等について説明。

○各委員より、アンケートの表現方法等について意見があり、修正して配布することで承認。

【委員意見・修正内容】

(アンケート表紙について)

- ・新学習指導要領について説明しているが、保護者にはわかりにくい。また、令和2年、3年等、新学習指導要領の実施時期が掲載されているが、その時期に学期制が変更になるとの誤解を与えやすいため、新学習指導要領についての説明は削除し、県内や筑紫地区の動向等を簡潔に記載する。

- ・本市の子どもに最適な学期制について検討するためにアンケートを行うものと説明を加える。

(アンケート内容について)

- ・「2理由」について、何を基準に判断したらよいかわかりにくいため、「別紙の3学期制と2学期制のちがいを参考に回答してください」等の説明を加える。

- ・「設問」と「質問」が混在しているため、「質問」に統一する。

(資料について)

- ・年間スケジュールに「秋休み6日」とあるが、必ず6日間あるように誤解されてしまうため、表現方法を工夫する。

(2) アンケート調査の実施方法について

- 小中学校保護者には、7月上旬に配布し、1学期終業式前までに回収（小学校は各学校2・4・6年生のうち1クラスずつ。中学校は1～3年生のうち2クラスずつ抽出して実施。）。市内教職員全員も1学期終業式前までに配布及び回収。その他、各校の学校運営協議会委員及び地域(全27区から学校運営協議会委員等と重複しない5人ずつ)から8月上旬ごろまでに配布及び回収することで承認。

(3) 第2回審議会の議題について

- 事務局より、別紙「学期制検討事業スケジュール」により説明。
 - ・次回(8/28)、アンケート実施結果を基に検討を進めていくことを確認。

8. 諸連絡

(1) 子どもに最適な審議会 今後の予定

- 今後の予定を周知。第2回：8月28日(水)、第3回：10月23日(水)、第4回：12月11日(水)、第5回：2月26日(水) ※いずれも10時～
- 開催前に開催通知を送付する。

(2) その他

- 委員報酬等について事務局より説明。
- その他、委員より質問等
 - Q) 事務局としては2学期制と3学期制のどちらにしたいのか？
 - A) 最初からどちらにしたい、というものではない。審議会において、本市の子どもにとってどちらが最適かを検討していきたい。
 - Q) 2学期制を実施しているのはどれくらいあるか？
 - A) 平成14年度の完全週5日制開始以降、2学期制実施校が増加している。平成21年度に全国の小学校21.8%、中学校23%の実施がピーク。福岡県内では、平成30年度で小学校21.7%、中学校16.7%となっている。
 - Q) 2学期制とした場合の今後のスケジュールは？
 - A) 今年度中に答申をいただいた後、令和2年度は準備期間、早くて令和3年度からの実施となる予定。
 - Q) 2学期制から3学期制に戻した学校の理由は？
 - A) 次回までに確認する。

9. 閉会